

## 岩トレ：三つ峠

- ◆日程 2018年5月13日(日) 前夜発日帰り  
 ◆メンバー L：須田(健)、佐藤(俊)、大山

前日、大山さんを上永谷駅で、佐藤さんを東戸塚でピックアップして三つ峠に向かう。道路は空いていて予定通り22時半に三つ峠駐車場に到着。早速テントを立てて寝ようとするが持って来たはずのテントが見つからない。ザックの他に手提げ袋を2つ持ってきたが肝心のテントを入れた袋を積み忘れたようだ。流石にマズイと青ざめたが後の祭り。

仕方ない、車で寝るかと思ったが佐藤さん、大山さんと相談してその場にあったブルーシート2枚、ポンチョ1枚、傘2本、ロープなどを使って簡易ツェルト？を作ることにした。まず車のホイールと立ち木でロープを張って、その上にブルーシートとポンチョを繋げて屋根のようにかぶせ、傘を広げて頭部の空間を作った。銀マットは2枚持ってきたので下に敷いてシュラフに入ると、かなり隙間が空いていて星空など見えるが何とか一晩過ごせるマイホームが出来た。そして何とか無事に朝を迎えられた。



### 5月13日(日) 天候：曇りのち雨

朝5時起床。7時に屏風岩の岩場に到着した。すでに右フェース南面には2パーティーが取り付いていたため、右フェース東面を登ることにした。

準備を整えてまずは地蔵ルート(右)V+を私がリードで登る。最初から足場が無く、ヌンチャクをクリップしてA0で上がる。ピンは近い距離で打ってあるので助かるが、下から見ていたより悪い。まだ岩に身体が馴染んでないからだろうか。5mほど上がり、そこから上に行くか右に行くかで迷うが、上には良い支点が無く、また大きなハチの巣があるのも見える。右にトラバースするルートを取るがフットホールドが乏しくしばらく停滞。ここで落ちたらかなり振られるなあ～、などといふ余計なことを考えてしまう。ようやく根性を決めてそろそろとトラバースした。レトロなピンが2本あり、強度を確認すると大丈夫そうなのでそこで支点構築してローダウンで下りる。



佐藤さん、大山さんがトップロープで登る。大山さんはかなり緊張しているようだったが、バランス良く慎重に登っていた。佐藤さんはさすがの安定感である。

その後、地蔵ルートから第一クラック(クラック通し)IV+に繋げてリードし、第一バンドまで上がって頑丈な支点が設置してあるところでビレイする。途中のクラックが狭かったが、足をね

じ込んで強引に力業で突破した。二人にも第一バンドまで上がってもらおうと富士山の雄大な景色が歓迎してくれた。懸垂下降で下りたら休憩。休憩後、空いてきた右フェース南面に移動する。

一般ルート（右）Ⅲ+が一番易しそうなのでそこに決め、佐藤さんがまずリードで登る。第一バンドに到達して支点構築してローダウンで降りてくる次に大山さんが登ろうとしたが雨が降ってきたため私が替わってトップロープで上がり、支点を解除して懸垂下降で急いで降りた。時間も12時を回っていたので片づけて撤収することにした。

駐車場に着く頃はかなり雨足も激しくなっていて、早めに撤収して良かった。帰り道は渋滞にはまってしまったが、久しぶりの三ッ峠岩トレを満喫できた。登り足りない感じもあったので時間を空けずにまた行きたい。前泊テントをわすれた私の失態を笑って許してくれた二人に感謝&陳謝します。 (記：須田)

CT：三ッ峠駐車場 5:40-屏風岩 7:00-岩トレ-撤収・下山開始 12:00  
-三ッ峠駐車場 13:20